

半年余りの休団の後、8月から復帰したT1の佐藤(國)さんから「休団雑感：合唱は心の栄養剤」と題した投稿がありました。休団中歌うことができなかつた合唱大好きのご本人がどんなにか辛い思いをしていたであろうことは察しがつきますが、意外にも愛知県内をしたたかに楽しんでいました。復帰最初の練習に参加されたときの晴ればれとした気付きを寄せていただきました。(HP担当記)

合唱は心の栄養剤

公務員をリタイヤ後、平成17年にドン合唱団に入団し、早いもので十数年がたちました。以来、長期欠席は極力避けてきたつもりでしたが、家事都合によりやむなく今年の1月から7月までの7か月間、休団する羽目となってしまいました。休団理由は娘夫婦の仕事の都合で孫2人(3歳と6歳の女子)のケアが目的でした。2か月ごとに家事都合により帰宅していましたが、犬(ラブラドルレトリバー)がいるものですから往復はすべて自家用車を使用し、同乗者は妻と犬ということです。

孫のケアといいましても、朝・夕の保育園又は小学校の送迎と休日の娘夫婦の不在時の「おともり」ですから、時間的には余裕があったわけです。しかし犬がおりますから、泊りで遊びに行くわけにはいきませんでしたので、愛知県内で日帰り可能な名所(例えば、名古屋城、トヨタ自動車技術博物館、リトルワールド、犬山城、愛西市の花はす田、七宝博物館、セントレア等)を見て回りました。この中で皆さんに紹介したいのは「中部国際空港セントレア」です。

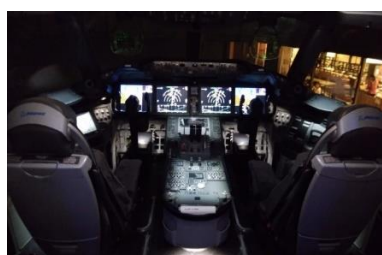
この「セントレア」には広大な室内に実物の「ボーイング787」が展示してありコックピットの見学ができます。展示機の周辺には数か所のゲーム(紙飛行機の飛行ゲーム、自分で描いた飛行機絵画が実際に飛び、操縦できる等)やCA・キャプテンのコスチューム試着体験コーナーがあり、またシアトルの有名店のアンテナショップ10店位が出店していました。一番体験したかった操縦の模擬体験(実際のコックピットでシュミレーターによる操縦体験)をしたかったのですが3ヶ月先まで申し込みが満杯で断念しました。この「787」こそ、わがドン合唱団員の中には設計から製造にいたるまでかかわった方が数人おられるということを以前にお聞きしておりましたので興味がありました。実際に搭乗はしていませんが、間近に見させていただけますと、本当に美しく、素晴らしいJet Planeであることを肌で感じる事ができました。皆さんも機会がありまあしたらぜひ体験されることをお勧めいたします。

さて、休団期間中のことをとりとめのない文章で書かせて頂きましたが、この期間中に感じたことは「自分にとって合唱とは？」という思いでした。しばらく練習を休んでみると「歌いたくてムズムズする」自分がいました。そして7か月後に帰宅してからドン合唱団の練習に最初に参加したときに心のもやもやも吹き飛び、つくづく「合唱は私の心の栄養剤だなー」と思っている自分に気が付きました。これからあと何年歌うことができるかは分かりませんが、自分の気が済むまで藍原寛治先生のご指導のもとで皆様方と歌っていきたいと思っています。宜しく願いいたします。休団雑感を記させて頂きました。

令和元年9月9日記す 佐藤國廣(T1)



この手形はお孫さんの？



先進のデジタルコックピット



エンジン(推力：約30ト×2基)